

債還ヲ爲ス者ハ之ヲ受クル者ヲシテ債還計算書ニ債還ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且之ニ署名セシムルコトヲ得

第三百七十三條 質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケザリシ場合ニ於テ拒絕證書ヲ作ラシメザリシトキ又ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ二週間内ニ寄託物ノ競賣ヲ請求セザリシトキハ裏書人ニ對スル請求權ヲ失フ

第三百七十四條 質入證券所持人ノ預證券所持人ニ對スル請求權ハ辨濟期ヨリ一年質入證券裏書人ニ對スル請求權ハ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケタル日ヨリ六個月質入證券裏書人ノ其前者ニ對スル請求權ハ債還ヲ爲シタル日ヨリ六個月ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第三百七十五條 寄託者又ハ預證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢若クハ其見本ノ抽出ヲ求メ又ハ其保存ニ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

質入證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢ヲ求ムルコトヲ得

第三百七十六條 倉庫營業者ハ自己又ハ其使用人カ受寄物ノ保管ニ關シ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルニ非ラザレハ其滅失又ハ毀損ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百七十七條 倉庫營業者ハ受寄物出庫ノ時ニ非サレハ保管料及ヒ立替金其他受寄物ニ關スル費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス但受寄物ノ一部出庫ノ場合ニ於テハ割合ニ應ジテ其支拂ヲ請求スルコトヲ得

第三百七十八條 當事者カ保管ノ期間ヲ定メザリシトキハ倉庫營業者ハ受寄物入庫ノ日ヨリ六個月ヲ經過シタル後ニ非サレハ其返還ヲ爲スコトヲ得但已ムコトヲ得サル事由アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七十九條 預證券及ヒ質入證券ヲ作りタル場合ニ於テハ之ヲ引換ニ非サレハ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百八十條 預證券ノ所持人ハ質入證券ニ記載シタル債權ノ辨濟期前ト雖モ其債權ノ全額及ヒ辨濟期マテノ利息ヲ倉庫營業者ニ供託シテ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第三百八十條ノ二 寄託物カ同種類ニシテ同一ノ品質ヲ有シ且分割スルコトヲ得ヘキ物ナルトキハ預證券ノ所持人ハ債權額ノ一部及ヒ其辨濟期マテノ利息ヲ供託シ其割合ニ應ジテ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テ倉庫營業者ハ供託

ヲ受ケタル金額及ヒ返還シタル寄託物ノ數量ヲ預證券ニ記載シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス  
前項ニ定メタル寄託物ノ一部出庫ニ關スル費用ハ預證券ノ所持人ノ之ヲ負擔ス

第三百八十一條ノ三 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百八十一條ノ規定ハ前條第一項ノ供託金ヲ以テ質入證券ニ記載シタル債權ノ一部ヲ辨濟シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十一條 第二百八十六條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ寄託者又ハ預證券ノ所持人カ寄託物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサル場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ競賣代金ノ上ニ存在ス

第三百七十條及ヒ第三百七十一條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十六條 商人間ノ賣買ニ於テ買主カ其目的物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ賣主ハ其物ヲ供託シ又ハ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲シタル後之ヲ競賣スルコトヲ得此場合ニ於テハ遲滞ナク買主ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

損敗シ易キ物ハ前項ノ催告ヲ爲サスレテ之ヲ競賣スルコトヲ得  
前二項ノ規定ニ依リ賣主カ賣買ノ目的物ヲ競賣シタルトキハ其代價ヲ供託スルコトヲ要ス但其全部又ハ一部ヲ代金ニ充當スルコトヲ妨ケス

第三百八十二條 第三百四十八條ノ規定ハ倉庫營業者ニ之ヲ準用ス

第三百八十三條 寄託物ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル倉庫營業者ノ責任ハ出庫ノ日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス



前項ノ期間ハ寄託物ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ倉庫營業者カ預證券ノ所持人若シ所持人カ知レサルトキハ寄託者ニ對シテ其滅失ノ通知ヲ發シタル日ヨリ之ヲ起算ス

前二項ノ規定ハ倉庫營業者ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第三百八十三條ノ二 倉庫營業者ハ寄託者ノ請求アルトキハ預證券及ヒ質入證券ニ代ヘテ倉荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス  
倉荷證券ニハ預證券ニ關スル規定ヲ準用ス

第三百八十三條ノ三 倉荷證券ヲ以テ質權ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ質權者ノ承諾アルトキハ寄託者ハ債權ノ辨濟期前ト雖モ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テ倉庫營業者ハ返還シタル寄託物ノ種類、品質及ヒ數量ヲ倉荷證券ニ記載シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

### 第二章 保稅倉庫法 (明治三十年三月法律第十五號、同四十年三月法律第二十號、昭和二年四月法律第四十四號ニテ改正)

#### 第一章 總 則

券 一條 保稅倉庫ハ輸入手數未済ノ貨物ヲ藏置スル所トス

保稅倉庫ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ内國貨物ヲ藏置スルコトヲ得

第二條ノ二 保稅倉庫ニ於テハ稅關長ノ許可セザル範圍内ニ於テ貨物ノ改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テ手入ノ材料トシテ内國貨物ヲ外國貨物ニ、外國貨物ヲ内國貨物ニ使用セムトスルトキハ稅關ノ承認ヲ受クヘシ

第二條 保稅倉庫ニ藏置スル輸入手數未済ノ貨物ハ其ノ藏置中ハ輸入シタルモノト看做サス

第三條 保稅倉庫ニ藏置シタル外國貨物ノ輸入稅ハ輸入ノ時ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ庫入ノ際稅關ノ検査ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ輸入稅ハ庫入ノ時ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス

前項ノ検査ヲ受ケタル外國貨物カ其ノ藏置中災害ニ因リ滅失若ハ變質シ又ハ稅關ノ承認ヲ經テ滅却セラレタルトキハ其ノ現存スル部分ニ付輸入ノ時ノ性質及數量ニ依リ輸入稅ヲ徵收ス

第四條 保稅倉庫ニ若ハ保稅倉庫ヨリ輸入手數未済ノ貨物ヲ運搬スルトキハ命令ヲ以テ定ムル通路ニ依ルヘシ

第五條 保稅倉庫ニ藏置スルコトヲ得ヘキ貨物ノ種類ハ稅關長ノ決定ム

第五條ノ二 保稅倉庫ニ貨物ヲ庫入シ又ハ保稅倉庫ヨリ貨物ヲ庫出セムトスルトキハ稅關ノ許可ヲ受クヘシ

第六條 保稅倉庫ニ藏置シタル貨物ノ輸入ニ關シテハ此法律ニ規定シタルモノノ外關稅法ヲ適用ス

第七條 保稅倉庫ノ貨物藏置期限ハ庫入ノ日ヨリ三年トス

第八條 保稅倉庫ニ藏置ノ貨物庫移ヲ爲ストキハ其ノ藏置期限ハ總テ最初庫入ノ日ヨリ通算ス

第九條 保稅倉庫又ハ保稅倉庫ヨリ輸入手數未済ノ貨物ヲ運搬スルトキハ稅關ハ貨主ヲシテ其ノ貨物ニ對スル輸入稅ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得  
前項ノ貨物稅關ノ指定期限内ニ仕向地ニ到達セサルトキハ其ノ輸入稅ヲ徵收ス但シ災害ニ因リ滅失シタルモノニシテ稅關ノ承認ヲ受ケタルトキハ此限ニアラス

第九條ノ二 保稅倉庫ニ藏置シタル貨物カ藏置期限ヲ經過スルモ引取ラレサルトキハ稅關ハ利害關係者ノ費用及危險ノ負擔ニ於テ其ノ貨物ヲ收容シ又ハ庫主ヨリ其ノ輸入稅ヲ徵收ス

第九條ノ三 稅關長ハ取締上必要アリト認ムルトキハ藏置貨物ノ手入ノ停止又ハ庫出ヲ命シ其ノ他必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ貨物ノ庫出ヲ命セラレタル者之ヲ庫出セサルトキハ稅關ハ其ノ者ノ費用及危險ノ負擔ニ於テ其ノ貨物ヲ收



容スルコトヲ得

第九條ノ四 關稅法第三條中收容ニ關スル規定並同法第四十七條、第四十八條及第五十條乃至第五十二條ノ規定ハ本法ニ依リ收  
容シタル貨物ニ之ヲ準用ス

第十條 官設保税倉庫ニ藏置スル貨物ニ對シテハ記名ノ預證券ヲ發スルモノトス

第十一條 預證券ハ裏書ヲ以テ讓渡スコトヲ得

第十二條 預證券盜難ニ罹リ又ハ紛失滅失シタルトキハ其ノ旨稅關ニ届出ヘシ

前項ノ場合ニ於テ民事訴訟法ニ依リ其ノ證券ヲ無効トスル除權判決アリタルトキハ權利者ニ新證券ヲ交付ス

第十三條 前條第一項ノ届出アリタル預證券ヲ持參スル者アルトキハ持參人及届出人ニ於テ相當ノ手續ヲ爲シ其ノ權利者確定  
スル迄藏置貨物ノ引渡ヲ停止ス

第十四條 藏置貨物ハ預證券引換ニ交付スルモノトス

第十五條 藏置貨物引取ノ權利ニ付訴訟アルトキハ其ノ當事者ハ藏置期限ノ延期ヲ求ムルコトヲ得

第十六條 (削除)

第十七條 藏置ノ貨物腐敗其ノ他ノ事故ニ因リ倉庫又ハ他ノ貨物ヲ害スル虞アルトキハ稅關ハ公告シテ指定ノ期限内ニ其ノ引  
取ヲ命スヘシ此期限ヲ經過スルモ其ノ貨物ヲ引取ラサルトキハ稅關ハ之ヲ滅却スルコトヲ得但シ緊急ノ必要アルトキハ期限  
内ニ於テモ仍之ヲ滅却スルコトヲ得

前項ニ依リ滅却シタル貨物ニ對シテハ輸入稅ヲ徵收セス

第三 章 私設保税倉庫

第十八條 保税倉庫ノ業ヲ營マムトスル者ハ稅關ノ特許ヲ受クヘシ

第十九條 私設保税倉庫ノ庫主ハ稅關長ノ指揮監督ヲ受クヘシ

第二十條 私設保税倉庫ノ庫主ハ其ノ保管スル貨物ノ輸入稅ニ付自ラ一切ノ責任ヲ有ス

第二十一條 私設保税倉庫ノ庫主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保管貨物輸入稅ノ擔保トシテ金錢又ハ國債證券ヲ供託スヘシ

第二十二條 (削除)

第二十三條 (削除)

第二十四條 私設保税倉庫ノ貨物保管規則及庫敷料ハ稅關長ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第二十五條 當該官吏ハ監督上必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ私設保税倉庫ノ貨物又ハ帳簿書類ヲ検査スルコトヲ得其ノ貨  
物運搬中ニ在ルモノハ其ノ所在ニ就キ検査ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 私設保税倉庫營業ノ特許ハ左ノ場合ニ於テ消滅スルモノトス

一 庫主其ノ營業ヲ廢シタルトキ

二 庫主死亡シタルトキ

三 庫主破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

四 特許ノ期限満了シタルトキ

五 稅關長ニ於テ特許ヲ取消シタルトキ

第二十七條 私設保税倉庫營業ノ特許消滅シタルトキハ稅關長ハ其ノ旨ヲ公告シ貨主ヲ指定ノ期限内ニ其ノ藏置貨物ノ處分  
ヲ爲サシムヘシ但シ前營業者ノ業務ヲ引繼カカ爲ニ特許消滅後一箇月以内ニ營業ノ特許ヲ出願スルモノアルトキハ此限ニ在  
ラズ

前項ノ指定期限ヲ過クルモ貨主其ノ貨物ノ處分ヲ爲ササルトキハ稅關長ハ之ヲ官設保税倉庫又ハ他ノ私設保税倉庫ノ保管ニ

第九 章 參考法規 保税倉庫法

三八七



移スヘシ

第二十八條 營業特許ノ消滅シタル私設保税倉庫ノ庫主又ハ相續人ハ其ノ藏置貨物ノ引取又ハ庫移ノ了ル迄ハ私設保税倉庫ニ關スル一切ノ義務ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十九條 第二十七條第二項ニ依リ藏置貨物ノ庫移ヲ爲シタルトキハ貨主ハ其ノ保税倉庫ニ於ケル諸般ノ規則價例ヲ遵守スルノ義務アルモノトス

第三十條 右ノ場合ニ於テハ税關長ハ營業ノ特許ヲ取消スコトヲ得

- 一 營業ニ關スル法律命令ニ違背シタルトキ
- 二 庫主輸入税ノ負擔ニ堪ヘサルノ疑アルトキ
- 三 庫主禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

第四章 罰 則

第三十一條 第一條ノ二ノ規定ニ違反シテ貨物ノ手入ヲ爲シ又ハ貨物ヲ使用シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 一 許可ヲ受ケスシテ保税倉庫ニ貨物ヲ庫入シ又ハ保税倉庫ヨリ貨物ヲ庫出シタル者
- 二 認可ヲ受ケタル貨物保管規則ニ依ラスシテ貨物ノ取扱ヲ爲シ又ハ認可ヲ受ケサル庫敷料ヲ徴シタル者
- 三 第二十五條ノ検査ヲ拒ミ、妨ケ又ハ忌避シタル者

第三十三條 私設保税倉庫ノ庫主又ハ輸出若ハ輸入ノ業ヲ營ム者ノ代理人又ハ使用人カ其ノ業務ニ關シ第三十一條又ハ前條ノ規定ニ依リ處罰セラルヘキトキハ其ノ庫主又ハ營業者ヲ處罰ス但シ庫主又ハ營業者カ其ノ代理人又ハ使用人ノ監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スル場合及税關貨物取扱人カ貨物ノ取扱ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

税關貨物取扱人ノ代理人、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ第三十一條又ハ前條ノ規定ニ依リ處罰セラルヘキトキハ税關貨物取扱人ヲ處罰ス

第三十四條 前條ノ場合ニ於テ庫主、營業者又ハ税關貨物取扱人カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ヲ處罰ス但シ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條ノ二 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法第三十八條第三項但書、第三十九條第二項、第四十條、第四十一條、第六十三條及第六十六條ノ例ヲ用ヒス但シ第三十二條第三號ノ罪ヲ犯シタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條ノ三 犯則事件ノ調査及處分ニ關シテハ關稅法ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ定ム(昭和二年法律第四十四號ハ昭和二年勅令第二百六十四號ヲ以テ昭和二年九月一日ヨリ施行) 本法施行前主務大臣カ私設保税倉庫、藏置貨物ノ種類、貨物保管規則又ハ庫敷料ニ付爲シタル特許、認可其ノ他ノ處分ハ税關長ノ爲シタル特許、認可其ノ他ノ處分トシテ本法施行後仍其ノ效力ヲ有ス 本法施行前ヨリ引續キ保税倉庫ニ藏置シタル貨物ニ付テハ其ノ藏置期限ハ最初ノ庫入許可ノ日ヨリ三年トシ其ノ輸入税ハ仍從前ノ例ニ依リ之ヲ徵收ス

第三 保税倉庫法施行規則 (昭和二年八月二十三號 大藏省令第二十三號)

第一條 保税倉庫ニ藏置スルコトヲ得ヘキ内國貨物ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル

- 一 輸出スヘキ貨物

第九章 参考法規 保税倉庫法施行規則



- 二 改装、仕分其ノ他ノ手入ノ爲使用スヘキ貨物
- 三 保税倉庫所在地ノ狀況ニ依リ特ニ必要アリト認メタル場合ニ於テ税關長ノ許可シタル貨物
- 前項第三號ノ貨物ニ付テハ外國貨物ヲ藏置スル爲必要アルトキハ税關長ハ何時ニテモ其ノ庫出ヲ命スルコトヲ得
- 第二條 外國貨物ト内國貨物及庫入ノ際税關ノ検査ヲ受ケタル貨物ト検査ヲ受ケサル貨物トハ區別シテ之ヲ藏置スルコトヲ要ス但シ税關官吏ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第三條 他ノ貨物ヲ損傷スル虞アル貨物ハ他ノ貨物ト混同シテ之ヲ藏置スルコトヲ得ス
- 第四條 發火質、燃燒質又ハ爆發質ノ貨物ハ特ニ其ノ貨物ヲ藏置スル爲設ケタル倉庫ノ外之ヲ藏置スルコトヲ得ス
- 第五條 貨物ノ藏置及取扱ニ付テハ總テ税關官吏ノ指揮ニ從フヘシ
- 第六條 貨物ノ改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲サントスルトキハ第一號様式ニ依ル手入申請書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ官設保税倉庫ニ於テ貨物ノ手入ヲ爲サントスルトキハ前項ノ申請書ニ當該貨物ノ預證券ヲ添附シ手入ヲ終リタルトキ之カ爲異動ヲ生シタル事項ニ付記載ヲ受ケタル後返還ヲ受クヘシ
- 第七條 手入ヲ終リタルトキハ第二號様式ニ依ル手入済申請書ヲ遲滞ナク税關ニ提出シ其ノ貨物ニ付検査ヲ受クヘシ
- 第八條 保税倉庫ニ貨物ヲ庫入セントスルトキハ外國貨物ニ在リテハ第三號様式、内國貨物ニ在リテハ第四號様式ニ依ル庫入申告書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ但シ庫入ノ際検査ヲ受クヘキ外國貨物ニ付テハ申告書ニ其ノ旨ヲ附記スルコトヲ要ス
- 前項ノ申告書ニハ貨物ノ仕入書又ハ明細書ヲ添附提出スヘシ
- 第九條 他人ノ貨物ヲ藏置スヘキ保税倉庫ニ藏置スル外國貨物ニ付テハ申請アリタルモノニ限り庫入ノ際検査ヲ爲スモノトス

- 自己ノ貨物ヲ藏置スヘキ保税倉庫ニ藏置スル外國貨物ハ庫入ノ際検査ヲ受クヘシ
- 第十條 保税倉庫ヨリ貨物ヲ庫出セントスルトキハ輸入、輸出、積戻若ハ運送ノ免許ヲ受ケ又ハ庫移若ハ保税工場ヘノ移入ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外第五號様式ニ依ル庫出申告書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ
- 保税倉庫法第一條ノ第二項ニ依リ手入ノ材料トシテ内國貨物ヲ使用シタル外國貨物又ハ外國貨物ヲ使用シタル内國貨物ヲ庫出セントスルトキハ其ノ使用シタル材料ノ輸入、輸出、積戻、運送、庫移、保税工場ヘノ移入又ハ庫出申告書ヲ提出シ免許又ハ許可ヲ受クヘシ
- 第十一條 藏置貨物ヲ庫移セントスルトキハ第六號様式ニ依ル庫移申告書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ但シ外國貨物ノ庫移ヲ爲ス爲運送ヲ要スルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第十二條 保税倉庫法第九條第二項但書ノ規定ニ依リ税關ノ承認ヲ受ケントスルトキハ滅失シタル貨物ノ品名、箇數、數量、價格、滅失ノ年月日及場所ヲ記載シタル申請書ヲ税關ニ提出スヘシ
- 前項ノ申請アリタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ税關ハ貨物ノ滅失シタル地所轉ノ税關又ハ警察官署ノ滅失證明書ヲ提出セシムルコトヲ得
- 第十三條 藏置貨物ノ見本ヲ取出サントスルトキハ第七號様式ニ依ル見本取出申請書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ
- 官設保税倉庫ノ藏置貨物ノ見本ヲ取出サントスルトキハ前項ノ申請書ニ當該貨物ノ預證券ヲ添附シ取出ヲ終リタルトキ其ノ見本ノ數量及取出ノ年月日ノ記載ヲ受ケタル後返還ヲ受クヘシ
- 第十四條 官設保税倉庫ニ貨物ヲ庫入シタルトキハ税關長ノ署名捺印シタル預證券ヲ貨主ニ交付ス
- 預證券ニハ左ノ事項ヲ記載ス
  - 一 貨物ノ品名、品質、記號、番號、包裝ノ種類、箇數及數量



- 二 貨主ノ住所及氏名又ハ商號
- 三 庫入年月日
- 四 倉庫所在地及倉庫番號
- 五 庫敷料
- 六 預證券ノ作成年月日
- 七 外國貨物ノ預證券ニハ前六號ノ外左ノ事項ヲ記載ス
- 七 庫入ノ際ニ於ケル検査ノ済否及検査ヲ受ケタル貨物ニ在リテハ其ノ輸入税額又ハ輸入税率
- 第十五條 預證券ノ所持人ハ税關ニ對シ預證券ノ分割ヲ請フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前ノ預證券ヲ税關ニ返還スルコトヲ要ス
- 第十六條 預證券ノ裏書ハ被裏書人ノ氏名又ハ商號、裏書ノ年月日ヲ記載シ裏書人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス但シ裏書人ノ署名ノミヲ以テ爲スコトヲ得
- 第十七條 官設保税倉庫ニ藏置シタル貨物ノ一部ヲ庫出セントスルトキハ當該貨物ノ預證券ヲ税關ニ呈示シ庫出ヲ終リタルトキ庫出シタル貨物ノ箇數、數量及庫出ノ年月日ノ記載ヲ受ケタル後返還ヲ受ケヘシ
- 第十八條 預證券盜竊ニ罹リ又ハ紛失滅失シタル場合ニ於テ新證券ノ交付ヲ請ハントスルトキハ再交付申請書ニ除權判決書ノ謄本ヲ添附シ其ノ證券ヲ發シタル税關ニ提出スヘシ
- 第十九條 汚損其ノ他ノ事由ニ因リ預證券ノ書換ヲ請ハントスル者ハ書換申請書ニ預證券ヲ添附シ其ノ證券ヲ發シタル税關ニ提出スヘシ
- 第二十條 預證券ノ分割、再交付又ハ書換ヲ請フ者ハ一通ニ付手数料三十錢ヲ納付スヘシ

- 第二十一條 官設保税倉庫ノ藏置貨物引換ノ權利ニ付訴訟アル場合ニ於テ其ノ當事者ヨリ藏置期限ノ延期ヲ申請セントスルトキハ第八號様式ニ依ル藏置期限延期申請書ニ訴訟ノ事實ヲ證明スル書類ヲ添附シテ税關ニ提出シ許可ヲ受ケヘシ但シ延期決定期限内ニ訴訟事件終結セザルトキハ更ニ其ノ延期ヲ求ムルコトヲ得
- 第二十二條 官設保税倉庫ニ貨物ヲ藏置シ又ハ官設保税倉庫ニ於テ藏置貨物ノ手入ヲ爲ス者ハ官設保税倉庫敷料規則ニ依リ庫敷料ヲ納付スヘシ
- 第二十三條 保税倉庫ノ特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ地區ノ位置、面積、倉庫ノ構造、棟數、藏置スヘキ貨物ノ種類及特許年限、改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲サントスル者ニ在リテハ其ノ手入ノ種類及其ノ手入ニ使用スヘキ貨物ノ種類ヲ記シタル書面ニ倉庫及其ノ附近ノ圖面ヲ添附シ所轄税關長ニ出願スヘシ但シ出願人會社ナルトキハ其ノ會社ノ登記謄本及定款ノ謄本ヲ添付スヘシ
- 他人ノ貨物ヲ藏置スヘキ保税倉庫業ノ特許ヲ受ケントスル者ニ在リテハ特許ノ出願ト同時ニ貨物保管規則及庫敷料ノ認可ノ申請ヲ爲スヘシ
- 第二十四條 私設保税倉庫業ノ特許期限ハ特許ノ日ヨリ三十年以内トス
- 特許期限ハ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得但シ其ノ期限ハ更新ノ日ヨリ三十年以内トス
- 第二十五條 私設保税倉庫ノ庫主ハ特許ヲ受ケタル後遲滞ナク保税倉庫法第二十一條ニ依ル擔保ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ税關ニ提出スヘシ
- 第二十六條 前條ニ依ル擔保ノ價額ハ倉庫ノ面積三百坪迄ハ二千圓トシ三百坪ヲ超ユルトキハ二百坪迄ヲ増ス毎二千圓ヲ加ヘタルモノトス
- 第二十七條 私設保税倉庫坪數ノ増加ニ因リ擔保ノ増加ヲ必要トスルトキハ庫主ハ遲滞ナク其ノ増加額ニ相當スル擔保ヲ供託シ



其ノ供託受領證ヲ税關ニ提出スヘシ

第二十八條 私設保税倉庫坪數ノ減少ニ因リ擔保ニ過剩ヲ生スルトキハ庫主ハ其ノ旨ヲ税關ニ届出テ擔保ノ減少ヲ求ムルコトヲ得

第二十九條 私設保税倉庫ヲ改築シ若ハ構造ヲ變更シ又ハ之ヲ増設シ若ハ減少セントスルトキハ税關長ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ修繕シ又ハ其ノ造作ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第三十條 保税倉庫業ノ特許ヲ受ケタル者特許期限内ニ廢業セントスルトキハ其ノ旨ヲ豫メ税關長ニ届出ツヘシ

第三十一條 保税倉庫業ノ特許消滅シタル場合ニ於テ其ノ業務ヲ引繼カントスル者ハ第二十三條ノ規定ニ準據シ税關長ニ出願スヘシ

第三十二條 私設保税倉庫ノ藏置貨物ノ種類、私設保税倉庫ニ於テ爲シ得ヘキ手入ノ種類又ハ手入ニ使用スヘキ貨物ノ種類ヲ變更セントスルトキハ税關長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十三條 私設保税倉庫又ハ其ノ藏置貨物ニ異狀アルトキハ庫主ハ直ニ其ノ旨ヲ税關ニ届出テ税關官吏ノ臨檢ヲ受クヘシ

第三十四條 藏置貨物腐敗、損傷其ノ他ノ事由ニ因リ滅却ヲ必要トスルトキハ税關ニ届出テ其承認ヲ受クヘシ

第三十五條 私設保税倉庫ノ庫主ハ防火設備其ノ他藏置貨物ノ保管上必要ナル設備ヲ爲スヘシ

第三十六條 私設保税倉庫ノ庫主ハ税關長ノ指揮ニ從ヒ貨物ノ検査上必要ナル場所ヲ設ケ其ノ他適當ノ設備ヲ爲スヘシ

第三十七條 私設保税倉庫ノ庫主ハ貨物ノ検査ニ關シ一切ノ利便ヲ與フルノ義務アルモノトス

第三十八條 私設保税倉庫ニハ二重鎖鑰ヲ設ケ其ノ鑰一箇ハ之ヲ税關ニ預クヘシ

第三十九條 私設保税倉庫ヲ開閉シ又ハ貨物ノ出入ヲ爲ストキハ税關官吏ノ立會ヲ受クヘシ

第四十條 私設保税倉庫ノ庫主ハ其ノ業務ニ從事スル者ノ氏名ヲ税關ニ届出ツヘシ其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第四十一條 官設保税倉庫内ニ於テ貨物ノ取扱ニ從事スヘキ人夫ハ貨主ヨリ豫メ税關ニ届出テ其ノ承認ヲ受クヘシ

第四十二條 私設保税倉庫ノ庫主ハ其ノ雇人及其ノ使用スル人夫ニシテ保税倉庫ノ構内ニ出入スル者ニ對シ相當ノ取締ヲ爲スヘシ

第四十三條 私設保税倉庫ノ庫主ハ藏置貨物ニ關スル帳簿ヲ設ケ左ノ事項ヲ記載スヘシ  
一 庫入又ハ庫出シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量、價格及庫入又ハ庫出ノ年月日  
二 改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲シタル貨物ニ在リテハ其ノ品名及之ニ使用シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量、價格、手入ノ種類及檢査済ノ年月日

第四十四條 私設保税倉庫ノ庫主ハ税關ノ要求アルトキハ何時ニテモ其ノ業務ニ關スル諸般ノ報告ヲ爲スヘシ

第四十五條 日没ヨリ日出迄ノ間及税關ノ休日ニ於テ保税倉庫ノ開庫ヲ必要トスルトキハ第九號様式ニ依ル臨時開庫申請書ヲ税關ニ提出シ特許ヲ受クヘシ但シ關稅法第二十六條及關稅法施行規則第七十四條ノ特許ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條 前條ノ特許ヲ受ケタル者ハ開庫一時間迄毎ニ手數料一圓ヲ納付スヘシ

第四十七條 保税倉庫法第十七條及第二十七條ノ公告ハ當該税關ニ揭示スル外三日以上官報ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第四十八條 貨物庫入ノ日ヨリ起算スル期間ハ庫入許可ノ日ヨリ之ヲ計算ス

第四十九條 貨主藏置貨物ノ調査ヲ爲シ又ハ其ノ保存上必要ノ行爲ヲ爲サントスルトキハ其ノ旨ヲ税關ニ申出テ承認ヲ受クヘシ

第五十條 保税倉庫内ニハ火氣ヲ入ルルコトヲ得ス燈火ヲ必要トスルトキハ税關ノ許可ヲ受ケタルモノヲ用ユヘシ

第五十一條 官設保税倉庫ニ藏置シタル貨物ニ係ル運搬費其ノ他貨物取扱ノ費用ニシテ税關ニ辨償スヘキモノハ貨物庫出ノ際之



ヲ納付スヘシ

附則

本令ハ昭和二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス  
明治三十年大藏省令第九號ハ之ヲ廢止ス

(様式略)

### 第四 保税工場法 (昭和二年四月 法律第四十五號)

- 第一條 保税工場ハ外國貨物ニ加工シ若ハ之ヲ原料トシテ製造ヲ爲シ又ハ外國貨物ノ改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲ス工場トス貨物ノ混合ハ之ヲ貨物ノ製造ト看做ス
- 第二條 保税工場ニ於テハ税關長ノ許可シタル範圍内ニ於テ内國貨物ニ加工シ又ハ之ヲ原料トシテ製造ヲ爲スコトヲ得
- 第三條 保税工場ニ於ケル作業ノ原料ニハ内國貨物ト外國貨物トヲ使用スルコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依リ内國貨物ト外國貨物トヲ使用シタル貨物ハ之ヲ外國貨物トス
- 第四條 保税工場ニ於ケル作業及貨物ノ種類ハ税關長ノ之ヲ定ム
- 第五條 保税工場ノ外國貨物ノ輸入税ハ輸入ノ時ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス但シ命令ヲ以テ指定シタル外國貨物ニシテ作業ノ際其ノ原料ニ付税關ノ検査ヲ受ケタルモノノ輸入税ハ命令ノ定ムル所ニ依リ検査ノ時ノ原料ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス
- 前項但書ノ場合ニ於テハ輸入税ノ外命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ利子ニ相當スル金額ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ徵收スル金額ハ之ヲ輸入税ト看做ス

- 第六條 保税工場ノ貨物積置期間ハ移入許可ノ日ヨリ一年トス但シ税關長ハ特別ノ事由アリト認ムル場合ニ於テハ更ニ一年ヲ超ニサル期間内ニ於テ之ヲ延長スルコトヲ得
- 前項ノ期間ハ他ノ保税工場ヨリ移入シタル貨物ニ付テハ最初ノ移入許可ノ日ヨリ之ヲ計算ス
- 第七條 税關官吏ハ取締上必要アリト認ムルトキハ保税工場ニ出入スル者ノ身邊搜索ヲ爲スコトヲ得
- 第八條 私設保税工場ヲ設置セムトスル者ハ税關長ノ特許ヲ受ケヘシ
- 第九條 私設保税工場ノ使用規則及使用料ハ税關長ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ
- 第十條 保税倉庫法第五條ノ二、第九條ノ三、第十九條、第二十條及第二十五條乃至第三十條ノ規定ハ保税工場ニ之ヲ準用ス
- 第十一條 關稅法第三條中收容ニ關スル規定並同法第四十七條、第四十八條及第五十條乃至第五十二條ノ規定ハ本法ニ依リ收容シタル貨物ニ之ヲ準用ス
- 第十二條 第二條又ハ第四條ノ規定ニ違反シテ作業ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
- 第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
  - 一 許可ヲ受ケスシテ保税工場ニ貨物ヲ移出シタル者
  - 二 第七條ノ搜索又ハ第十條ニ於テ準用スル保税倉庫法第二十五條ノ検査ヲ拒ミ、妨ケ又ハ忌避シタル者
  - 三 認可ヲ受ケタル使用規則ニ依ラスシテ保税工場ヲ使用セシメ又ハ認可ヲ受ケサル使用料ヲ徵シタル者
- 第十四條 私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケタル者又ハ輸出若ハ輸入ノ業ヲ營ム者ノ代理人又ハ使用人カ其ノ業務ニ關シ第十二條又ハ前條ノ規定ニ依リ處罰セラルヘキトキハ其ノ特許ヲ受ケタル者又ハ營業者ヲ處罰ス但シ特許ヲ受ケタル者又ハ營業者

第九章 参考法規 保税工場法



カ其ノ代理人又ハ使用人ノ監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スル場合及税關貨物取扱人カ貨物ノ取扱ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

税關貨物取扱人ノ代理人、雇人其ノ他ノ従業者カ其ノ業務ニ關シ第十二條又ハ前條ノ規定ニ依リ處罰セラルヘキトキハ税關貨物取扱人ヲ處罰ス

第十五條 前條ノ場合ニ於テ特許ヲ受ケタル者、營業者又ハ税關貨物取扱人カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ヲ處罰ス但シ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法第三十八條第三項但書、第三十九條第二項、第四十條、第四十一條、第六十三條及第六十六條ノ例ヲ用ヒス但シ第十三條第二號ノ罪ヲ犯シタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 犯則事件ノ調査及處分ニ關シテハ關稅法ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和二年勅令第二百六十六號ヲ以テ昭和二年九月一日ヨリ施行)

假置場法ハ之ヲ廢止ス

舊法ニ依リテ特許セラレタル私設假置場ハ之ヲ本法ニ限リテ特許セラレタル私設保税工場ト看做シ舊法ニ限リテ認可セラレタル貨物藏置規則及庫敷料ハ之ヲ本法ニ依リテ認可セラレタル使用規則及使用料ト看做ス

舊法ニ依リテ爲シタル處分及手續ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

本法ニ依リテ假置場ニ藏置シタル貨物ニシテ引續キ保税工場ニ在ル貨物ノ藏置期間ハ最初ノ移入免許ノ日ヨリ一年トス但シ之ヨリ長キ期間ヲ認メラレタル貨物ニ付テハ其ノ期間ニ限ル

前項ノ貨物ノ輸入税ハ仍舊前ノ例ニ依リテ之ヲ徵收ス

他ノ法令中税關假置場又ハ假置場トアルハ保税工場トス

第五 保税工場法施行規則 (昭和二年八月大藏省令第二十五號)

第一條 保税工場ニ貨物ヲ移入セントスルトキハ外國貨物ニ在リテハ第一號様式、内國貨物ニ在リテハ第二號様式ニ依ル移入申告書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受ケヘシ

第二條 外國貨物ト内國貨物及作業ノ際税關ノ検査ヲ受ケタル貨物ト検査ヲ受ケサル貨物トハ區別シテ之ヲ藏置スルコトヲ要ス但シ税關官吏ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 貨物ニ加工シ若ハ之ヲ原料トシテ製造ヲ爲シ又ハ貨物ノ改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲サントスルトキハ第三號様式ニ依ル「作業申告書」ヲ税關ニ提出シ承認ヲ受ケヘシ

保税工場法第五條第一項但書ノ規定ノ適用ヲ受ケヘキ貨物ノ原料ニ付テハ作業ノ際税關ノ検査ヲ受ケヘシ

第四條 作業ヲ終リタルトキハ加工又ハ製造ヲ爲シタル場合ニ於テハ第四號様式ニ依ル「加工製造済申告書」ヲ、手入ヲ爲シタル場合ニ於テハ第五號様式ニ依ル手入済申告書ヲ運滞ナク税關ニ提出シ其ノ貨物ニ付検査ヲ受ケヘシ

第五條 内國貨物ノミナリテ作業ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナシト認ムルトキハ前二條ノ手續ハ之ヲ省略セシムルコトヲ得

第六條 内國貨物ノミナリテ作業ハ外國貨物ノミナリテ作業又ハ外國貨物ト内國貨物ヲ以テスル作業ト區別シテ之ヲ爲スヘシ

第七條 保税工場ヨリ貨物ヲ移出セントスルトキハ輸入、輸出、積戻若ハ運送ノ免許ヲ受ケ又ハ他ノ保税工場ヘノ移入若ハ保税倉庫ニ庫入ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外第六號様式ニ依ル「移出申告書」ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受ケヘシ

第九章 参考法規 保税工場法施行規則



第八條 保税工場法第五條第一項但書ノ適用ヲ受クヘキ貨物ノ輸入申告書ニハ其ノ貨物ニ使用シタル原料ノ品名、備数、數量、價格、作業、承認年月日及其ノ承認番號ヲ附記スヘシ

第九條 保税工場法第五條第二項ノ規定ニ定リ徵收スヘキ利子ニ相當スル金額ハ原料ニ付検査ヲ受ケタル日ヨリ起算シ輸入申告ノ日ニ至ル迄輸入税額ニ對スル年六分ノ割合ヲ以テ計算シタル金額トシ輸入税ニ加算シテ之ヲ徵收ス

第十條 藏置貨物ノ見本ヲ取出サントスルトキハ第七號様式ニ依ル見本取出申請書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

第十一條 保税工場法第六條第一項但書ノ規定ニ依リ貨物藏置期間ノ延長ヲ申請セントスルトキハ第八號様式ニ依ル藏置期間延長申請書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

第十二條 官設保税工場ヲ使用スル者ハ左ノ使用料ヲ納付スヘシ

一 重量ニ依リ輸入税ヲ賦課セラルヘキ貨物

五十斤迄毎ニ一月二錢

二 前號以外ノ貨物

一立方尺迄毎ニ一月二錢

三 土地又ハ建物ヲ専用スルトキ

一坪迄毎ニ一月二圓

前項第一號及第二號ノ使用料ハ徵收上便宜ト認ムルトキハ第二號ノ定率ヲ第一號ノ貨物ニ、第一號ノ定率ヲ第二號ノ貨物ニ適用スルコトヲ得

第十三條 一月未滿ノ使用料ハ十五日迄ハ半月分ヲ十五日ヲ超ユルトキハ一月分ヲ徵收ス

第十四條 第十二條第一項第一號及第二號ノ使用料ハ貨物移出ノ際之ヲ納付シ同項第三號ノ使用料ハ一月毎ニ之ヲ前納スヘシ

第十五條 私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ地區ノ位置、面積、建設物ノ構造、棟數、坪數、作業ノ種類及其ノ作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類並特許年限ヲ記シタル書面ニ地區、工場及其ノ附近ノ圖面ヲ添附シ所轄税關長ニ出願スヘシ

但シ出願人會社ナルトキハ其ノ會社ノ登記簿本及定款ノ謄本ヲ添附スヘシ  
他人ヲシテ使用セシムヘキ私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケントスル者ニ在リテハ特許ノ出願ト同時ニ使用規則及使用料ノ認可ノ申請ヲ爲スヘシ

第十六條 保税工場ニ於テ内國貨物ニ加工シ又ハ之ヲ原料トシテ製造ヲ爲サントスル者ハ其ノ作業ノ種類及其ノ作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類ヲ記シタル書面ヲ以テ税關長ニ出願スヘシ

第十七條 私設保税工場ノ特許期限ハ特許ノ日ヨリ二十年以内トス

特許期限ハ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得但シ其ノ期限ハ更新ノ日ヨリ二十年以内トス

第十八條 私設保税工場ノ地區ノ面積若ハ建設物ヲ増減シ又ハ建設物ヲ改築シ若ハ其ノ構造ヲ變更セントスルトキハ税關長ノ承認ヲ受クヘシ建設物ヲ修繕シ又ハ其ノ造作ヲ變更セントスルトキ亦同シ

前項ノ建設物ノ改築若ハ構造ノ變更又ハ其ノ増減ノ承認ヲ受ケタル者ハ工事落成ノ際税關ニ届出テ其ノ建設物ノ検査ヲ受クヘシ

第十九條 私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケタル者特許期限内ニ廢業セントスルトキハ其ノ旨ヲ豫メ税關長ニ届出ツヘシ

第二十條 私設保税工場設置ノ特許消滅シタル場合ニ於テ其ノ業務ヲ引繼カントスル者ハ第十五條ノ規定ニ準據シ税關長ニ出願スヘシ

第二十一條 私設保税工場ノ作業ノ種類又ハ作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類ヲ變更セントスルトキハ税關長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條 私設保税工場又ハ其ノ藏置貨物ニ異狀アルトキハ特許ヲ受ケタル者ハ直ニ其ノ旨ヲ税關ニ届出テ税關官吏ノ臨檢ヲ受クヘシ

第二十三條 私設保税工場ノ藏置貨物盜難ニ罹リ又ハ紛失シタルトキハ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ貨物ニ對スル輸入税ヲ納付スヘシ



第二十四條 施設保稅工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ防火設備其ノ他該置貨物ノ保全上必要ナル設備ヲ爲スヘシ

第二十五條 施設保稅工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ税關長ノ指揮ニ從ヒ貨物ノ検査上必要ナル場所ヲ設ケ其ノ他適當ノ設備ヲ爲スヘシ

第二十六條 施設保稅工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ貨物ノ検査ニ關シ一切ノ利便ヲ與フルノ義務アルモノトス

第二十七條 施設保稅工場ニハ二重鎖鑰ヲ設ケ其ノ鑰一箇ハ之ヲ税關ニ預クヘシ

第二十八條 施設保稅工場ヲ閉閉シ又ハ貨物ノ出入ヲ爲ストキハ税關官吏ノ立會ヲ受クヘシ

第二十九條 施設保稅工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ業務ニ從事スル者ノ氏名ヲ税關ニ届出ツヘシ其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第三十條 官設保稅工場内ニ於テ貨物ノ取扱ニ從事スヘキ人夫ハ貨主ヨリ豫メ税關ニ届出テ其ノ承認ヲ受クヘシ

第三十一條 施設保稅工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ雇人及其ノ使用スル人夫ニシテ保稅工場ノ構内ニ出入スル者ニ對シ相當ノ取締ヲ爲スヘシ

第三十二條 施設保稅工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ貨物ニ關スル帳簿ヲ設ケ左ノ事項記テ載スヘシ

一 保稅工場ニ移入シタル貨物ノ記號、香號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量、價格及移入ノ年月日

二 改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲シタル貨物及之ニ使用シタル貨物ノ記號、香號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量、價格、手入ノ種類及検査済ノ年月日

三 加工又ハ製造ノ原料ニ使用シタル貨物ノ記號、香號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量及價格

四 加工又ハ製造シタル貨物並副産物ノ品名、數量、及検査済ノ年月日

五 保稅工場法第一項但書ノ規定ニ依リ課税セラレタル貨物ニ在リテハ其ノ品名、箇數、數量、價格及其ノ原料ニ使用シタル貨物ノ記號、香號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量及價格

六 保稅工場ヨリ移出シタル貨物ノ記號、香號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量、價格、移出ノ目的及移出ノ年月日

第三十三條 施設保稅工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ税關ノ要求アルトキハ何時ニテモ其ノ業務ニ關スル諸般ノ報告ヲ爲スヘシ

第三十四條 保稅工場法第十條ニ於テ準用スル保稅倉庫法第二十七條ノ公告ハ當該税關ニ揭示スル外三日以上官報ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三十五條 官設保稅工場ニ該置シタル貨物ニ係ル運搬費其ノ他貨物取扱ノ費用ニシテ税關ニ辨償スヘキモノハ貨物移出ノ際之ヲ納付スヘシ

第三十六條 税關官吏ハ貨物ノ加工又ハ製造ニ關シ職務上知得シタル事項ヲ他ニ漏洩スルコトヲ得ス

本令ハ昭和二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年大藏省令第十八號ハ之ヲ廢止ス

(様式略)

附則

第六 農業倉庫業法

(大正六年七月二十一日法律第十五號、大正十五年三月二十七日、法律第三十二號ヲ以テ改正)

第一條 本法ニ於テ農業倉庫業者トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ

一 農業ヲ營ム者ガ其ノ生産シタル穀物、繭其ノ他勸令ヲ以テ指定スル物品ヲ所有スル場合又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ガ

第九章 参考法規 農業倉庫業法

四〇三



小作料トシテ受ケタル穀物其ノ他勅令ヲ以テ指定スル物品ヲ所有スル場合ニ於テ其ノ者ノ爲ニ本法ニ依リ倉庫ニ保管スル者  
管スル者

二 販賣組合又ハ販賣組合聯合會カ賣却スル滿チ其ノ者ノ爲ニ本法ニ依リ倉庫ニ保管スル者  
前項ニ規定スル寄託物ニ付所有權ノ移轉アリタルトキト雖農業倉庫業者ハ其ノ寄託物ノ保管期間内ニ限り之ヲ保管スルコト  
ヲ得

農業倉庫業者ハ前二項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り業務規程ノ定ムル所ニ依リ前三項ノ規定ニ依リス物品ノ保管  
ヲ爲スコトヲ得

第二條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ前條ノ事業ノ外左ノ事業ヲ爲スコトヲ得

一 受寄物ノ調製、改製又ハ荷造ヲ爲スコト

二 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立ヲ爲スコト

三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次ヲ爲スコト

四 自己ノ作成セタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト

五 受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託シタル場合ニ於テ其ノ物品ノ聯合農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト

六 他ノ農業倉庫業者カ擔保トシテ受取リタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト

第三條 農業倉庫業者ハ營利ヲ目的トシテ其ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 産業組合、農會、農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人並市町村及之ニ準スヘキモノニ非サレハ第一條第一項第一號ノ  
農業倉庫業者タルコトヲ得ス

命令ヲ以テ指定スル産業組合聯合會ニ非サレハ第一條第一項第二號ノ農業倉庫業者タルコトヲ得ス

第五條 農業倉庫業者タル産業組合又ハ産業組合聯合會ハ産業組合法ニ規定スルモノノ外第一條及第二條ニ規定スル事業ヲ  
目的ト爲スコトヲ得

前項ノ産業組合又ハ産業組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ組合員又  
ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ニ非サル者ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號乃至第六號ノ事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

農業倉庫業者タル農會又ハ公益法人ハ第二條第四號乃至第六號ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 農業倉庫業者タラムトスル者ハ業務規程ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ種類及品位ノ同一ナル寄託物ヲ混合シテ保管スルコトヲ得

第七條ノ二 農業倉庫業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ寄託物ノ倉荷證券ヲ交付スルコトヲ得

商法第三百八十三條ノ二第二項及第三百八十三條ノ三ノ規定ハ前項ノ倉荷證券ニ之ヲ準用ス

第八條 農業倉庫業者ノ作成スル倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ要ス

農業倉庫業者ニ非サル者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ得ス

第九條 混合保管ノ場合ニ於テハ農業倉庫業者ハ農業倉庫證券ニ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第十條 寄託物ノ保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六月以内トス

第一條第一項ニ規定スル寄託物ニ付テハ保管期間ヲ更新スルコトヲ得但シ寄託者ハ更新ノ際同條第一項ニ掲ケル者タルコト  
ヲ要シ其ノ期間ハ六月ヲ超ユルコトヲ得ス

第一條第三項ニ規定スル寄託物ニ付テハ同條第一項及第二項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り保管期間ヲ更新スルコ  
トヲ得其ノ期間ハ前項但書ニ同シ

第十一條 商法第三編第五章乃至第七章第三百七十五條乃至第三百七十八條及第三百八十一條乃至第三百八十三條ノ規定ハ本  
第九章 參考法規 農業倉庫業法



法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

第十二條 商法第三百七十六條ノ規定ハ受寄物ノ調製、改装又ハ荷造ニ關シ農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

第十三條 農業倉庫業者業務規程ヲ變更セムトスルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條 農業倉庫業者ニハ所得稅、營業收益稅及營業稅ヲ課セス

第十四條ノ二 農業倉庫業者ノ農業倉庫又ハ其ノ敷地ニ關スル權利ノ取得ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

第十五條 行政官廳公益上必要ト認ムルトキハ農業倉庫業者ニ對シ其ノ指定スル穀物又ハ藁ノ寄託ヲ受ケ受寄物ノ検査其ノ他ノ行爲ヲ爲スヘキコトヲ得

第十六條 行政官廳ハ農業倉庫業者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ業務執行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條 行政官廳農業倉庫業者ノ業務執行若ハ財産ノ狀況ニ依リ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ、農業倉庫業者ノ行爲カ法令若ハ業務規程ニ違反シタルトキ又ハ其ノ行爲カ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ事業ノ停止ヲ命ジ又ハ認可ヲ取消スコトヲ得

第十八條 農業倉庫業者タル法人ノ理事又ハ之ニ準スヘキ者本法又ハ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第十九條 本法ニ於テ聯合農業倉庫業者トハ農業倉庫業者カ第一條第一項及第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ヲ本法ニ依リ倉庫ニ保管スル者ヲ謂フ聯合農業倉庫業者ハ他ノ聯合農業倉庫業者カ前項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ヲ保管スルコトヲ得

聯合農業倉庫業者ハ前二項ノ規定ニ依リ保管ニ支障ナキ場合ニ限り業務規程ノ定ムル所ニ依リ農業倉庫業者カ第一條第三項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品又ハ販賣組合若ハ販賣組合聯合會カ買却スル物品ヲ保管スルコトヲ得他ノ聯合農業倉庫業者カ本項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ニ付亦同シ

第二十條 産業組合聯合會ニ非サレハ聯合農業倉庫業者タルコトヲ得ス

第二十一條 聯合農業倉庫業者タル産業組合聯合會ハ産業組合法ニ規定スルモノノ外第二條(第二十六條第一項ノ規定ニ依リ準用)及第十九條ニ規定スル事業ヲ目的ト爲スコトヲ得

前項ノ産業組合聯合會ハ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ所屬組合又ハ所屬聯合會ニ非サル組合又ハ聯合會ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號乃至第六號(第二十六條第一項ノ規定ニ依リ準用)ノ事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條 農業倉庫業者カ寄託者又ハ農業倉庫證券ノ所持人及受寄物ノ質權者アル場合ニ於テハ其ノ質權者ノ承諾ヲ得テ其ノ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託シタル場合ニ於テハ其ノ寄託ニ因リ生シタル農業倉庫業者ノ權利義務ハ當初ノ寄託者又ハ農業倉庫證券ノ所持人ニ移轉シ當初ノ寄託ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二十三條 農業倉庫業者者カ其ノ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託セムトスル場合ニ於テ其ノ受寄物ノ農業倉庫證券アルトキハ將來ニ向テ其ノ證券ノ裏書ヲ禁止スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ前項ノ證券ノ裏書ヲ禁止スルニ非サレハ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託スルコトヲ得ス

第二十四條 聯合農業倉庫業者ハ其ノ受寄物ノ農業倉庫證券ナキ旨ノ農業倉庫業者ノ證明書又ハ前條第二項ノ規定ニ依リ裏書ヲ禁止セラレタル證券ト引換ニ非サレハ其ノ受寄物ノ聯合農業倉庫證券ヲ交付スルコトヲ得ス

第二十五條 前三條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者者カ其ノ受寄物ヲ他ノ聯合農業倉庫業者ニ寄託スル場合ニ之ヲ準用ス



第二十六條 第二條、第三條、第六條乃至第九條、第十條第一項及第十一條乃至第十八條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス但シ第二條第六號中農業倉庫業者トアルハ農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者、農業倉庫證券トアルハ農業倉庫證券又ハ聯合農業倉庫證券トシ第八條中農業倉庫證券トアルハ聯合農業倉庫證券トス

第十條第二項ノ規定ハ第十九條第一項又ハ第二項ニ規定スル寄託物ニ、同條第三項ノ規定ハ第十九條第三項ニ規定スル寄託物ニ之ヲ準用ス但シ聯合農業倉庫業者カ第十九條第一項及第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル第一條第二項ノ物品ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年法律第三十二號ハ大正十五年七月十四日勅令第二百五十七號ヲ以テ大正十五年九月一日ヨリ施行）

本法施行ノ際現ニ農業倉庫業者カ從前ノ第一條第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

本法施行ノ際現ニ存スル預證券及質入證券ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第七 農業倉庫業法施行規則

（大正六年八月十五日農商務省令第十五號、大正九年六月八日農商務省令第六號並ニ大正十五年農林省令第十九號ニテ改正）

- 第一條 農業倉庫業者ノ認可申請書ニハ業務規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ
  - 一 申請ノ理由
  - 二 倉庫ニ於テ取扱フヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定
  - 三 倉庫ノ所在地

- 四 倉庫ノ棟數、建坪、主要ナル構造又ハ工事及收容力並倉庫經營ニ要スル敷地ノ面積ニ關スル事項
  - 五 倉庫及敷地ハ申請者ノ所有ニ係ルモノナリヤ否ヤノ別及所有ニ係ラサルモノニ付テハ其ノ使用ノ權利ニ關スル事項
  - 六 倉庫ハ既設ノモノナリヤ否ヤノ別並新ニ建築、改築又ハ修繕ヲ爲スモノニ付テハ其ノ竣工ノ豫定期日及既設ノモノニ付テハ建築ノ時期
  - 七 附屬ノ設備ニ關スル事項
  - 八 貸付事業ヲ爲ス場合ニ於テハ貸付金總額ノ豫定及其ノ調達方法
  - 九 起業費及一箇年ノ收支概算
  - 十 申請者タル法人ニ於テ農業倉庫開始ノ決定ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ決定ヲ證スル書面
  - 十一 公益法人ニ存リテハ定款又ハ寄附行爲及財産目錄
  - 十二 農業倉庫法第一條第一項條二號ノ農業倉庫業者タラムトスル者ニ在リテハ其ノ區域内ニ於ケル販賣組合及販賣組合聯會ノ賣却スル滿ノ總量
- 第二條 農業倉庫業者ノ業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ
- 一 事業ノ種類及農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依ル保管ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨
  - 二 保管スヘキ物品ノ名稱
  - 三 農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位並同條第一項及第二項ノ規定ニ依ル保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第三項ノ規定ニ依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位
  - 四 保管ノ方法及保管上特殊ノ作業ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ作業



- 五 保管料ニ關スル規定
- 六 保管期間ニ關スル規定
- 七 聯合農業倉庫業者又ハ倉庫營業者ニ受寄物ノ寄託ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨及寄託スヘキ聯合農業倉庫業者又ハ倉庫營業者ノ名稱
- 八 受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託スル場合ニ於ケル受寄物及農業倉庫證券ノ取扱並受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ引渡ス迄ノ間ニ於ケル危險ノ負擔ニ關スル規定
- 九 受寄物ノ入庫及出庫ニ關スル規定
- 十 證券發行ニ關スル規定
- 十一 保險ニ關スル定アルモノニ付テハ之ニ關スル規定
- 十二 避クヘカラサル事由ニ依ル減量ノ負擔ニ關スル規定
- 十三 受寄物ノ検査ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十四 農業倉庫法第二條ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十五 産業組合又ハ産業組合聯合會ニ於テ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ニ非サル者ノ爲ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十六 剩餘金又ハ損失金ニ關スル規定
- 第三條 混合保管ヲ爲スモノニ在リテハ前條ノ事業ノ外業務規程中ニ左ノ事項ヲ規定スヘシ
  - 一 混合保管ノ範圍
  - 二 受寄物ノ返還ニ關スル規定

- 第四條 農業倉庫法第四條第二項ノ規定ニ依リ農業倉庫業者タルコトヲ得ル者ハ前ノ販賣ヲ目的トスル販賣組合聯合會ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル
  - 一 共同倉庫及共同乾滿裝置助成規則ニ依リ共同倉庫ノ助成金交付ノ許可ヲ受ケタル者ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル倉庫ヲ有スル者
  - 二 共同倉庫及共同乾滿裝置助成規則ニ依リ共同倉庫ノ助成金ノ交付ヲ受クル倉庫ニ準スヘキ規模及構造ヲ具備スル倉庫ヲ有スル者
- 第五條 農業倉庫業者ニ非サレハ其ノ名稱中ニ農業倉庫ナル文字ヲ用ウルコトヲ得ス
- 第六條 農業倉庫業者ハ農業倉庫法第一條第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ同條第一項及第二項ノ規定ニ依リ保管スル物品ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ
- 第七條 農業倉庫業者倉庫ノ所在地、棟數、建坪又ハ收容量ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ
- 第八條 農業倉庫業者ハ事業年度終了後三月内ニ前年度ノ收支計算書及事業報告書ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
- 第九條 農業倉庫業者事業施行ニ關スル規程ヲ設ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
- 第十條 農業倉庫業者事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ休止セタル事業ヲ開始シタルトキ亦同シ
- 第十一條 聯合農業倉庫業者ノ認可申請書ニハ業務規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ
  - 一 第一條第一號乃至第十號ニ掲グル事項
  - 二 申請者ノ所屬組合又ハ所屬聯合會ニシテ農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者タルモノカ一年間ニ保管スル物品ノ種類別數量及申請者ニ寄託スヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定



三 申請者ノ所屬販賣組合又ハ所屬販賣組合聯合會カ一年間ニ賣却スル物品ノ種類別加量及申請者ニ寄託スヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定

第十二條 聯合農業倉庫業者ノ業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

一 事業ノ種類及農業倉庫業法第十九條第三項ノ規定ニ依ル保管ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨

二 第二條第二號、第四號乃至第十三號及第十六號ニ掲クル事項

三 農業倉庫業法第十九條第三項ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位並同條第一項及第二項ノ規定ニ依ル保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第三項ノ規定ニ依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位

四 農業倉庫業法第二條(同法第二十六條第一項ノ規定ニ依リ準用)ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定

五 所屬組合又ハ所屬聯合會ニ非サル組合又ハ聯合會ノ爲ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定

六 聯合農業倉庫業者カ農業倉庫業法第二十四條ノ規定ニ依リ聯合農業倉庫證券ト引換ニ受取リタル農業倉庫證券又ハ聯合農業倉庫證券ノ取扱ニ關スル規定

第十三條 聯合農業倉庫業者ハ農業倉庫業法第十九條第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ同條第一項及第二項ノ規定ニ依リ保管スル物品ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付ケヘシ

第十四條 第三條、第五條及第七條乃至第十條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス但シ第五條中農業倉庫ナル文字トアルハ聯合農業倉庫ナル文字トス

第十五條 農業倉庫業法第六條及第十三條ノ行政官廳ハ地方長官トシ同法第十五條乃至第十七條ノ行政官廳ハ農林大臣及地方

長官トス但シ同法第十六條ノ行政官廳ハ北海道ニ於テ産業組合、産業組合聯合會、町村農會、郡農會又ハ町村若ハ之ニ準スヘキモノカ農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者タル場合ニ於テハ農林大臣、北海道廳長官及北海道廳支廳長トス

附則  
本令ハ大正十五年法律第三十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第七條又ハ第十五條ノ規定ニ依リ公益法人ニ付地方長官廳ノ行フヘキ處分ハ當分ノ内農林大臣之ヲ行フ

〔備考〕 特殊倉庫ノ建設ヲ獎勵スル法規ニ、次ノ三種アリ。  
一、農業倉庫獎勵規則(大正六年八月十五日農商務省令第六號)  
二、水産冷蔵獎勵規則(大正十二年五月十五日、農商務省令第十一號)  
三、共同備倉庫及共同乾満裝置助成規則(農林省令)

(前記(三)ノ助成金ニ付キ昭和二年度第一回分ヲ見ルニ、之ヲ受ケタル府縣ハ東京、群馬、奈良、愛媛各一、埼玉二、宮城三箇所ニシテ、其經營者ハ多ク産業組合ナレトモ、愛媛、奈良ノ如キ農業倉庫又東京府ノ如キ株式會社ナキニアラス、金額ハ多ク三萬圓餘ナルモ、又七萬五千圓位ノモノ、並ニ東京ノ會社ノ如ク十五萬圓餘ノモノアリテ、合計金四七〇、九一六圓ナリキ)

# 倉庫論終



KI KAISHA

HOUSE RECEIPT.

Yokohama, ..... Taisho, .....

ermentioned goods for Storage in good order and condi-  
his Receipts, and shall deliver them in exchange with  
ealed by him.

Manager.

CHUO SOKO KABUSHIKI KAISHA.  
No. 4, Midoricho, Yokohama.

| Wt. | Pkg. | Date of Warehousing. | Rate of charges. | Term. |
|-----|------|----------------------|------------------|-------|
|     |      |                      |                  |       |

Amount, .....

IT.

he signature and seal of its manager.

be only those caused by Rain., Theft, or Unaccountable Disappearance.  
unt of the putrifaction, leakage or other decaying or damaged conditions  
ing him to take an immediate delivery of them or otherwise to make a  
pay damages for the apprehended injury actually happening in conse-  
r or sell them at public auction as the case may require. In case of sale,  
disbursements, and expenses of the notification and auction as well as  
ut, if the proceeds are insufficient, he shall be liable to the company for

it shall be delivered in exchange with a uniform delivery-order of the  
under the depositor's delivery-orders, been taken out of the store, thus  
eserving &c. of the goods shall be borne by the Depositor.  
ost at the expiration of the agreed period the subsequent charges for







# CHUOSOKO KABUSHIKI KAISHA

Kobe Branch, Mikawasakicho, Itchome, Kobe.

(ded Warehouse.)

## WAREHOUSE WARRANT.

|                         |  |
|-------------------------|--|
| Storage Charges.        | @ ¥ 0.77 per bag per month.                                |
| Amount Insured.         | ¥ 802.80<br>¥ 13.40 per bag.                               |
| Period of Insurance.    | From the time of storage till the time of removal.         |
| Underwriters.           | Mitsubishi Fire Insurance Co.                              |
| Amount of Customs Duty. | 1. @ ¥ 2.50 per 100Kin 0.85<br>2. @ ¥ 3.10 per 100Kin 0.15 |
| Remarks.                | Not responsible for shortage of contents.                  |

Received the above mentioned goods for storage subject to the terms of the Agreement set forth on the back hereof; the goods to be delivered to the depositor or order on the surrender of this warrant.

Made and issued at the Company's Kobe Branch Office, this 27th day of November in year 1925.

For the MITSUBISHI SOKO KABUSHIKI KAISHA,

Manager, Kobe Branch.

|            |       |                           |                     |
|------------|-------|---------------------------|---------------------|
| TRANSFERS. | Date. | Signature of Transferrer. | Name of Transferee. |
|            |       |                           |                     |

# CHUOSOKO KABUSHIKI KAISHA

中央倉庫株式会社

## NON-ASSIGNABLE WAREHOUSE RECEIPT.

禁 派 販 賣 貯 庫 証 書

No. ....

### Translation

**M** *Yokohama, Taisho,*  
DEPOSITOR.  
THE Company hereby certifies that it has duly received the undermentioned goods for Storage in good order and condition and subject to the terms of the Agreement specified in this Receipts, and shall deliver them in exchange with the Receipt or the Depositor's delivery orders duly signed and sealed by him.

Manager.  
CHUO SOKO KABUSHIKI KAISHA.  
No. 4, Midoricho, Yokohama.

| No. of Godown. | Marks & Nos. | Contents, | Num. of Pkgs. | Weight. |          | Pkg. | Date of Warehousing. | Rate of charges. | Term. |
|----------------|--------------|-----------|---------------|---------|----------|------|----------------------|------------------|-------|
|                |              |           |               | Avg.    | Gro. Wt. |      |                      |                  |       |
|                |              |           |               |         |          |      |                      |                  |       |

Fire Insurance: Term, ..... Amount, .....  
Insurers, .....

REMARKS.

### AGREEMENT.

All Depositors of goods must and do hereby accept the following conditions:

1. This Warehouse Receipt issued by the Company will always bear its seal and the signature and seal of its manager.
  2. This Warehouse Receipt is not and shall not be assignable.
  3. The loss of or damage to the goods in deposit for which the Company is liable shall be only those caused by Rain, Theft, or Unaccountable Disappearance.
  4. Where injury to the store itself or other goods placed therein is apprehended on account of the putrefaction, leakage or other decaying or damaged conditions of the deposited goods or their packing, the company will notify the Depositor thereof asking him to take an immediate delivery of them or otherwise to make a necessary disposal. If the Depositor fails to comply with the Company's request, he shall pay damages for the apprehended injury actually happening in consequence. The company may, on its part, either throw away the said goods of the depositor or sell them at public auction as the case may require. In case of sale, the company, may apply the proceeds thereof towards the payment of its storage charges, disbursements, and expenses of the notification and auction as well as damages for the injury. Should there be a surplus, it shall be returned to the Depositor, but, if the proceeds are insufficient, he shall be liable to the company for the balance.
  5. In case a portion only of the goods covered by this Receipt is to be withdrawn, it shall be delivered in exchange with a uniform delivery-order of the Depositor duly signed and sealed by him.
  6. When the entire quantity of the deposited goods has, by means of part-deliveries under the depositor's delivery-orders, been taken out of the store, this Receipt shall thereby lose its force and effect.
  7. All the expenses incidental to the receiving, delivering, transporting, inspecting, preserving &c. of the goods shall be borne by the Depositor.
  8. When the goods are not cleared or steps are not taken to renew the contract of deposit at the expiration of the agreed period, the subsequent charges for storage shall be double the amount originally upon.
- The Company may also proceed in accordance with the provisions of Art. COCLXXXI, of the Commercial Code.
9. When a portion of the goods under a contract of fire insurance made through the Company is delivered, the Company will cause a proportionate reduction to be effected on the insured amount. Special agreements existing at the time been between this Company and the fire insurance company and also the rules of the latter for insurance shall always be observed and followed.
  10. When fixed by month, the charge for storage shall be full amount if deposit is made on or before the 15th day of a Calendar month and half the amount if made after.
  11. Matters not expressly provided for in this Agreement shall be dealt with in accordance with the provisions of the Commercial Code

Received all the Goods mentioned in this Receipt.

Yokohama, .....



(號二第式書庫倉)

# MITSUBISHI SOKO KABUSHIKI KAISHA.

KOBE BRANCH.

No. 46, Higashikawasakicho, Itchome, Kobe.

(Bonded Warehouse.)

## WAREHOUSE WARRANT.

No. 1,212

|  |          |   |                              |
|--|----------|---|------------------------------|
| Marks and Nos, Number of Packages and Description of Goods.  |          | Storage Charges.  |                              |
| ABK Seventy-two (72) bags Cup Sugar  |          | @ ¥ 0.77 per bag per month.   |                              |
| Depositor: Messrs. Ohishi Shoten, Ltd.   |          | Amount Insured: ¥ 802.80  |                              |
| Name of Vessel: S.S. "Tjibesar"  |          | Period of Insurance: From the time of storage till the time of removal. |                              |
| Date of Bonding Permit: November 26th, 1925.   |          | Underwriters: Mitsubishi Fire Insurance Co.                             |                              |
| Date of First Storage: November 24th, 1925.  |          | Amount of Customs Duty: 1. @ ¥ 2.50 per 100K in 0.85                    |                              |
| Gross Weight or Measure: 161.10 K in   |          | 2. @ ¥ 3.10 per 100K in 0.15  |                              |
| Term of Deposit: Till February 26th, 1926.   |          | Remarks: Not responsible for shortage of contents.                      |                              |
| Place of Storage: Yehizenbori Godown B   |          |   |                              |
| <p><b>DELIVERIES.</b></p> <p>Received the above mentioned goods for storage subject to the terms of the Agreement set forth on the back hereof; the goods to be delivered to the depositor or order on the surrender of this warrant.</p> <p>Made and issued at the Company's Kobe Branch Office, this 27th day of November in year 1925.</p> <p>For the MITSUBISHI SOKO KABUSHIKI KAISHA,<br/>Manager, Kobe Branch.</p> |          |   |                              |
| Date   | Quantity | Receiver's Signature  | Acknowledged by the Company. |
|  |          |   |                              |
|  |          |   |                              |
|  |          |   |                              |
|  |          |   |                              |
|  |          |   |                              |
|  |          |   |                              |
|  |          |   |                              |
|  |          |   |                              |

Notice! The holder of the warrant is deemed to have accepted the terms of the Agreement set forth on the back hereof.

CHUOSOKO KABUSHI

NON-ASSIGNABLE WAREHOUSE RECEIPT

No. ....

Translation

M.

DEPOSITOR.

THE Company hereby certifies that it has duly received the under- tion and subject to the terms of the Agreement specified in t the Receipt or the Depositor's delivery orders duly signed and se

| No. of Godown. | Marks & Nos. | Contents, | Num. of Pkgs. | Weight. |     |
|----------------|--------------|-----------|---------------|---------|-----|
|                |              |           |               | Avge.   | Grc |
|                |              |           |               |         |     |

Fire Insurance: Term, Insurers,

REMARKS.

AGREEMENT

- All Depositors of goods must and do hereby accept the following conditions:
1. This Warehouse Receipt issued by the Company will always bear its seal and t
  2. This Warehouse Receipt is not and shall not be assignable.
  3. The loss of or damage to the goods in deposit for which the Company is liable shal
  4. Where injury to the store itself or other goods placed therein is apprehended on acco of the deposited goods or their packing, the company will notify the Depositor thereof ask necessary disposal. If the Depositor fails to comply with the Company's request, he shall quence. The company may, on its part, either throw away the said goods of the deposite the company, may apply the proceeds thereof towards the payment of its storage charges, damages for the injury. Should there be a surplus, it shall be returned to the Depositor, the balance
  5. In case a portion only of the goods covered by this Receipt is to be withdrawn, Depositor duly signed and sealed by him.
  6. When the entire quantity of the deposited goods has, by means of part-deliveries Receipt shall thereby lose its force and effect.
  7. All the expenses incidental to the receiving, delivering, transporting, inspecting, pr
  8. When the goods are not cleaned or sters are not taken to renew the contract of del



横濱税關保稅倉庫預證券摘要

第 號

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 船名                       |    |
| 倉庫番號                     |    |
| 最初庫入時日                   |    |
| 陸揚時日                     |    |
| 本關庫入時日                   |    |
| 本証券發行時日                  |    |
| 貨主住所                     |    |
| 貨主氏名                     |    |
| 仕出場所(庫移又ハ運送ノ時)           |    |
| 記號                       | 番號 |
| 品名                       |    |
| 個數                       | 數量 |
| 輸入税額                     |    |
| 一ヶ月庫敷料                   |    |
| 見本取出時日                   |    |
| 本証券書換再渡又ハ貨物引取ニ因リ効力消滅ノ年月日 |    |
| 本証券發行ノ時主任者印              |    |
| 本証券効力消滅ノ時主任者印            |    |

(倉庫書左端二對)

AGREEMENT.

The holder of this warrant is bound by the following conditions :—

1. The Company shall not be held responsible for loss of or damage to the goods deposited owing to the change of climate, sanitary or disinfecting processes, vermin, insects, rats, nature or defects of the goods, imperfect packing or unavoidable causes.
2. The Company is exempted from liability for any loss or damage caused by fire, if the underwriters are bound to indemnify for such loss or damage, or if no insurance has been effected on such goods by the Company at the desire of the depositor, provided always that such loss or damage has not been caused by gross negligence on the part of the Company.
3. When a part of the goods deposited on which fire insurance has been effected is withdrawn from the warehouse, the amount of insurance shall be proportionally reduced.
4. When the holder of this warrant claims the compensation against the Company for loss of or damage to the goods deposited, he is to prove that the Company has failed to use due care about the safe custody of the goods.
5. The amount to be compensated by the Company shall be limited to the insured amount in case of the goods deposited being insured through the Company, otherwise to the value declared at the time of their deposit or, if the market price at the time of loss of or damage to the goods is below the insured amount or the declared value mentioned above, to the said market price.
6. The fire insurance against the goods deposited is subject to the contract agreed upon between the Company and the underwriters.
7. If any apprehension exists of damage being done to the warehouse building or of injuries to other goods stored therein in consequence of the decay or deterioration of the goods and change in their form or nature, the holder of this warrant shall be notified to remove the goods. And if any damage is actually done to the warehouse building or to other goods stored therein owing to the delay, neglect or refusal on the part of the holder of this warrant to comply with the Company's request, the goods shall be sold by auction and the proceeds thereof shall, after deducting the expenses of the auction, the charges for storage and all other expenses, be applied to the compensation for such

damage. If the proceeds of the auction are insufficient to cover these payments, the holder of this warrant shall make good the deficit.

8. Any holder of this warrant desiring to withdraw a part of the goods may take delivery of such part by producing this warrant together with the permit of the custom house therefor and by paying such storage charges, disbursements and other expenses relating to the goods as proportional to the part to be withdrawn.
9. Taxes, storage charges, disbursements, or expenses relative to delivery, transport, inspection, samples, sanitary or disinfecting process and preservation or disposition of the goods deposited shall be borne by the holder of this warrant.
10. Storage charges shall be payable as follows :—
  - (A) Goods deposited on or before, or withdrawn after the fifteenth day of a calendar month shall be charged for as for a full month.
  - (B) Goods deposited after, or withdrawn on or before the fifteenth day of a calendar month shall be charged for as for a half month.
11. In the event of any holder of this warrant failing to clear the goods or to renew the deposit or remove them to a general warehouse, on the expiration of the terms of deposit mentioned in this warrant or in the Bonded Warehouse Law or after the process of importation has been completed before such expiration, the Company shall remove the goods to a general warehouse under the permission of Custom House and store them according to the Company's general Business Regulation and charge double rate, mentioned in this warrant, for storage after such removal. In the above case, notice may be given to the holder of this warrant by means of letter or an advertisement, calling for the withdrawal of the goods. If the goods be not withdrawn in spite of such notice, the Company may dispose of such goods in accordance with the provisions of Art. 381 of the Commercial Code.
12. Any notice to be given by the Company to the holder of this warrant may be done in the newspapers used for advertising purposes by the Court of Registration under whose jurisdiction the warehouse is situated.
13. All matters not provided for herein shall be subject to the Storage Regulations of the Private Bonded Warehouse of the Company.

The holder of the warrant is deemed to have accepted the terms of the agreement set forth on the back hereof.



(號三第式倉庫倉)

No. 橫濱稅關保稅倉庫預證券 第 號

WARRANT OF THE YOKOHAMA CUSTOMS BONDED WAREHOUSE

|   |          |                     |                    |             |                          |                            |                       |
|---|----------|---------------------|--------------------|-------------|--------------------------|----------------------------|-----------------------|
| Received the undermentioned goods on storage in the Bonded Warehouse No. of this Customs. |          | 住所                  |                    | 大正 年 月 日    |                          | 下ニ記載ノ貨物ハ當關第 稅倉庫ニ預リタルコトヲ 證ス |                       |
| Director of Customs, Yokohama.  |          | 貨主                  |                    | 本關庫入        |                          | 橫濱稅關長                      |                       |
| Date 19   |          |                     |                    | 大正 年 月 日    |                          |                            |                       |
| Name of Vessel  |          |                     |                    | 大正 年 月 日    |                          |                            |                       |
| Date of First Storage, 19   |          |                     |                    | 大正 年 月 日    |                          |                            |                       |
| Date of Landing, 19   |          |                     |                    | 大正 年 月 日    |                          |                            |                       |
| Date of Storage, 19   |          |                     |                    | 大正 年 月 日    |                          |                            |                       |
| Name of Depositor   |          |                     |                    | 月 月 月       |                          | 號 保                        |                       |
| Address   |          |                     |                    | 日 日 日       |                          |                            |                       |
| 記 號   | 番 號      | 個 數                 | 名                  | 數 量         | 輸 入 稅 額                  | 一 月 庫 數 料                  | Storage of One Month. |
| Marks   | Numbers. | Number of Packages. | Names of Articles. | Quantities. | Amount of Import Duties. |                            |                       |

橫濱稅關保稅倉庫預證券摘要

第 號

|                          |
|--------------------------|
| 船名                       |
| 倉庫番號                     |
| 最初庫入時日                   |
| 陸揚時日                     |
| 本關庫入時日                   |
| 本証券發行時日                  |
| 貨主住所                     |
| 貨主氏名                     |
| 仕出場所(庫移又ハ運送ノ時)           |
| 記號 番號                    |
| 品名                       |
| 個數 數量                    |
| 輸入稅額                     |
| 一ヶ月庫數料                   |
| 見本取出時日                   |
| 本証券書換再渡又ハ貨物引取ニ因リ効力消滅ノ年月日 |
| 本証券發行ノ時主任者印              |
| 本証券効力消滅ノ時主任者印            |

The holder of this warrant is bound by conditions :-

1. The Company shall not be held responsible for damage to the goods deposited owing to the climate, sanitary or disinfecting processes, vermin, rats, nature or defects of the goods, imperfect unavoidable causes.
2. The Company is exempted from liability for damage caused by fire, if the underwriters do not indemnify for such loss or damage, or if no insurance has been effected on such goods by the Company of the depositor, provided always that such loss has not been caused by gross negligence on the part of the Company.
3. When a part of the goods deposited on which insurance has been effected is withdrawn from the warehouse, the amount of insurance shall be proportionally reduced.
4. When the holder of this warrant claims the amount of insurance against the Company for loss of or damage to the goods deposited, he is to prove that the Company has used due care about the safe custody of the goods.
5. The amount to be compensated by the Company shall be limited to the insured amount in case of the goods being insured through the Company, otherwise to the value declared at the time of their deposit or, if there is no declaration, to the value of the goods at the time of loss of or damage to the goods, but not exceeding the insured amount or the declared value mentioned in the said market price.
6. The fire insurance against the goods deposited shall be to the contract agreed upon between the Company and the underwriters.
7. If any apprehension exists of damage being done to the warehouse building or of injuries to other goods stored therein in consequence of the decay or deterioration and change in their form or nature, the holder of the warrant shall be notified to remove the goods, and if damage is actually done to the warehouse building or to other goods stored therein owing to the delay in removal, the holder of the warrant shall be liable for the same.



要謝袋蓋貯車食保附關保貯

製 藥

|        |      |
|--------|------|
| 品名     | 糖膏車食 |
| 日卸入庫時量 |      |
| 日卸出庫量  |      |
| 日卸入庫原本 |      |
| 日卸出庫原本 |      |
| 積貯主量   |      |
| 積貯主量   |      |
| 出庫出庫   |      |
| 品名     | 糖膏   |
| 品名     | 量糖   |
| 積貯人    |      |
| 積貯車目   |      |
| 日卸出庫本  |      |
| 日卸入庫本  |      |
| 日卸出庫本  |      |
| 日卸入庫本  |      |

(倉庫書五種三類)

要謝袋蓋貯車食保附關保貯

製 藥

|  |             |   |                                   |      |    |    |    |
|--|-------------|---|-----------------------------------|------|----|----|----|
| 見本品<br>シテ取出高   | 年<br>月<br>日 | 數量<br>Quantities of Samples<br>withdrawn. | Director of Customs,<br>Yokohama. | Date | 19 | 19 | 19 |
| <p>REMARKS.</p> <p>1. Goods will be delivered on the production of this Warrant.</p> <p>2. The period of storage should not be longer than one year.</p> <p>3. Import duties and storage charges shall be paid at the time of withdrawal of goods.</p> <p>4. In case of loss of the Warrant, and of its discovery also, a notice shall be given to the Customs.</p> <p>5. In case of withdrawal of a part of goods, an application for a new Warrant for the remaining part shall be produced to the Customs.</p> <p>6. The holder of the Warrant is required to observe the Law of Bonded Warehouse (Law No. 15. 1897) and the Regulation of Bonded Warehouse (Regulation No. 9 of the Finance Dept. 1897).</p> |             |   |                                   |      |    |    |    |
| <p>一、貨物ハ本証券ヲ引換ニ交付スルモノトス</p> <p>二、貨物ノ藏置期限ハ庫入ノ日ヨリ滿壹ケ年トス</p> <p>三、輸入税及庫費料ハ貨物出庫ノ時納ムルモノトス</p> <p>四、本証券ヲ失フタル時ハ速ニ其事由ヲ具シ届出ツベシ其發見ノ場合ニ於テモ亦同シ</p> <p>五、貨物ノ一部ヲ出庫セントスルトキハ殘留貨物ニ對シ本証券再渡ヲ請フヘシ</p> <p>六、本証券ヲ所持スルモノハ明治三十年法律第十五號保税倉庫法及同大藏省令第九號保税倉庫法施行細則ノ規定ニ從フモノトス</p>   |             |   |                                   |      |    |    |    |



明治四十二年五月十五日初版發行  
 昭和十二年三月廿二日訂補八版發行  
 昭和十二年十月廿五日訂改增補十一版發行  
 昭和十二年十月廿五日訂改增補十一版發行

著 者 小 林 行 昌  
 發 行 者 株式會社 巖 松 堂 書 店  
 右代表者 波 多 野 重 太 郎  
 東 京 市 神 田 區 猿 樂 町 二 番 地  
 東 京 市 神 田 區 猿 樂 町 十 五 番 地  
 印 刷 者 稻 留 甚 平

倉庫論 奥附  
 定價金參圓五拾錢







▽ 巖松堂書店發兌目錄 △

|        |         |     |    |
|--------|---------|-----|----|
| 小林行昌   | 訂改倉庫論   | 三五〇 | 一八 |
| 辻岡喜代次郎 | 倉庫證券論   | 四〇〇 | 一八 |
| 井上龜五郎  | 農業倉庫の經營 | 五五〇 | 二四 |
| 小林行昌   | 訂增稅關論   | 三八〇 | 一八 |
| 太田正孝   | 關稅行政論   | 七〇〇 | 二四 |



64  
167.



終